

第6 資産カルテ（平成24年度決算）

1. 資産カルテの目的

県が管理する大規模な県有施設については、建設後の維持管理など今後の県財政への影響があることから、施設の状況や今後の大規模改修・修繕計画などについての確かな把握に努め、適正かつ効果的な維持管理を行っていくとともに、今後の維持管理や施設整備に対する県民の皆様の理解を得る観点から、施設に関する財務情報をわかりやすく提供していくことが重要と考えます。

このため、県議会からの提言も踏まえ、施設の適切な管理と県民の皆様への情報開示のため、大規模施設について「資産カルテ」を作成し、公表しています。

2. 対象施設の考え方

(1) 施設の規模

県財政への影響の観点から、施設の規模が相当程度あること。

(2) 県民の利用

県民への情報開示の観点から、広く県民に利用されている施設であること。

(3) 利用料金の徴収

維持管理費と料金との関係を検証する観点から、利用料金を徴している施設であること。

3. 今年度における対象施設

上記の考え方にに基づき、今年度は、以下の施設の資産カルテを作成しましたので、次頁以下に掲載します。

○三重県総合文化センター

複合文化施設（文化会館、県立図書館など）

○三重県立美術館

○三重県営サンアリーナ

コンベンション施設（メインアリーナ、サブアリーナなど）

○三重県営鈴鹿スポーツガーデン

総合スポーツ施設（水泳場、庭球場など）

○三重県営総合競技場

総合スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）

4. 資産カルテの活用

県が管理する大規模施設について、長期にわたり計画的かつ効果的な維持管理を進めるとともに、施設に関する財務情報等をわかりやすく提供するため、この資産カルテを活用し、施設の運営管理の状況を多面的にチェックしていくことで、利用者の皆様に良質なサービスを提供し効率的な施設管理を行っていくよう努めます。

資産カルテ【平成24年度決算】

施設名

三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産	財源	ライフサイクルコスト				
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 432億6千4百万円	財源計 432億6千4百万円 (内訳)	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上				
	建物建設費(A) 364億6百万円	国庫支出金 —	建物建設費・改修費累計額① ・これまで 370億5千4百万円 ・今後 10億円 計 380億5千4百万円				
	1期(当初) 357億5千9百万円	地方債 298億6千7百万円					
	立体駐車場建築 6億4千7百万円	県費その他 133億9千7百万円	修繕費累計額② ・これまで 17億9千6百万円 ・今後 51億 6百万円 計 69億 2百万円				
	用地費(B) 27億5千3百万円	(地方債残高 19億69百万円)					
	備品・その他(C) 41億5百万円	※借換債を含む	人件費累計額③ ・これまで 91億3千6百万円 ・今後 145億4千6百万円 計 236億8千2百万円				
今後の整備	過去の改修費 6億4千8百万円	6億4千8百万円					
	大規模改修等計画(予定)	10億円	管理費累計額④ ・これまで 100億4千1百万円 ・今後 167億3千6百万円 計 267億7千7百万円				
	・平成26年度 建築設備・建築物 5億円 ・平成46年度 建築設備・建築物 5億円						
今後の修繕	修繕計画(予定)	51億 6百万円	利子累計額⑤ ・これまで 95億8千7百万円 ・今後 9千3百万円 計 96億8千万円				
	・舞台修繕(25~27) 8億7千6百万円						
	・舞台設備(28~55) 22億5千万円 ・建築設備(25~55) 19億8千万円						
運営費(単年度)	支出額(決算額)	H24	H23	収入額(決算額)	H24	H23	
	人件費	508,201	518,456	料金収入	162,728	168,697	千円
	管理費	523,388	517,173	……A1			千円
	修繕費	227,232	278,661	事業収入等	149,979	200,579	千円
	事業費	362,611	419,179	県費負担額	1,593,543	1,633,892	千円
	元利償還金	284,818	269,699	……A2			千円
	計	1,906,250	2,003,168	計	1,906,250	2,003,168	千円
ライフサイクルコスト計 ①~⑤ 計 1,050億9千5百万円							

成果指標(実績は24年度)	
目標値①	施設利用率 年間73%
実績	81.1%
目標値②	
実績	

県民1人当たり運営費負担額(H24)	
A2÷CH24	867 円
C… (H24推計人口)	1,838,611 人(H24.10.1)
A2÷DH23	884 円
D… (H23推計人口)	1,848,107 人(H23.10.1)

利用者数
・当初予定利用者数 年間65万人(図書館除く)
・実績(平成24年度) 672,669 人(図書館除く) 325,867 人(図書館)
計 998,536 人 …… B
(参考) 利用者1人当たりの運営費負担額(H24) A1÷B H24 163 円 【 H23 159 円 】

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・県民の誰もが文化芸術を享受でき、文化活動に参加・参画できる環境づくりを進める。
- ・運営の中で積み上げてきた事例や蓄積された幅広いノウハウ、成果を県内の市町や県民に情報発信し、新しい地域社会を創造する原動力となる「文化力」を高めていく。
- ・行政機関、民間団体、NPO、ボランティア等との連携を強化し、多様な学習機会、交流の場、発表の場を提供する。
- ・文化芸術、生涯学習、男女共同参画活動の拠点施設として、情報提供、交流、人材育成、活動支援等の専門性を発揮する。

料金体系

【営利】

・大ホール 平日午前	入場料1,000円以下	61,160円
・中ホール 平日午前	入場料1,000円以下	30,580円
・大会議室 午前		17,120円
		など

【非営利】

・大ホール 平日午前	入場料1,000円以下	40,770円
・中ホール 平日午前	入場料1,000円以下	20,380円
・大会議室 午前		8,560円
		など

施設の耐震化状況

建物構造物は、S56建築基準法改正後建築であるため、耐震基準を満たしている。
吊天井については、H20に大ホール・中ホール、多目的ホール、H23にレプションホール等の耐震改修工事を実施し終了。

施設のバリアフリー化状況

平成12年度にバリアフリー工事を実施済。(約1.2億円)(スロープ改修・階段手摺設置・点字ブロック設置・トイレ改修・車椅子用駐車場整備他)

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

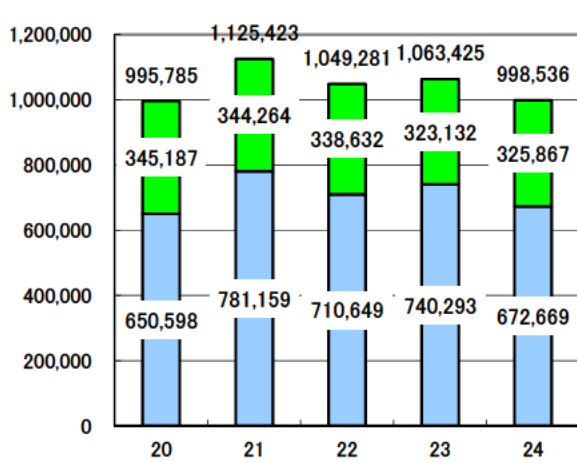
経営の効率化、柔軟な事業展開を行うとともに、機動性・弾力性の高さを活かして各種サービスの改善に取り組んできた結果、H24年度に過去最高の利用率を更新した。
複合施設としてのメリットを活かし、県の文化芸術、生涯学習、男女共同参画の進展に大きく寄与するべく、引き続き、蓄積されたネットワークやノウハウを発揮して効率的な運営を行っていく。

成果指標の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
施設利用率(%)	75.2	79.7	78.0	79.6	81.1

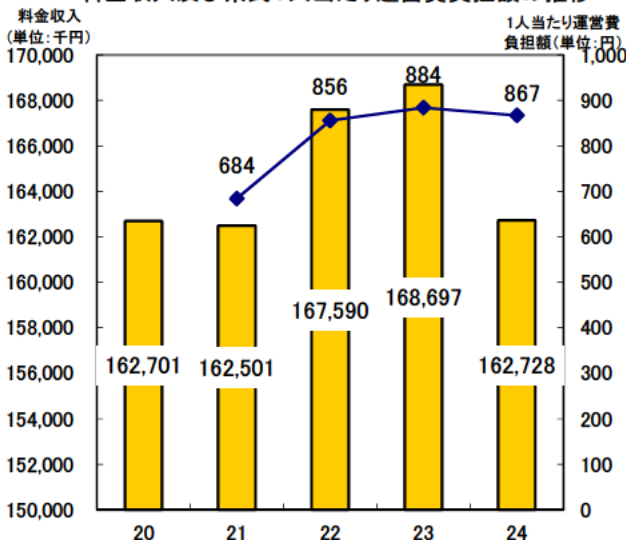
人数

来館者数の推移



□来館者数(図書館以外) ■来館者数(図書館)

料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



■料金収入 ◆県民1人当たり運営費負担額

資産カルテ【平成24年度決算】

施設名

三重県立美術館

建築年月日	昭和57年3月	供用開始日	昭和57年9月	延床面積	10,666㎡	用地面積	24,403.80㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造地上2階一部地下1階建						
施設運営形態	直営	指定管理者名	-				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 86億4千5百万円	財源計 86億4千5百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 49億6千6百万円 ・今後 8千6百万円 計 50億5千2百万円 修繕費累計額② ・これまで 3億8千4百万円 ・今後 7億6千6百万円 計 11億5千万円 人件費累計額③ ・これまで 36億3千万円 ・今後 22億2千5百万円 計 58億5千5百万円
	建物建設費(A) 45億8千2百万円 当初 27億8千2百万円 増改築 18億円 用地費(B) 総合教育センター敷地 備品・その他(C) 40億6千3百万円	(内訳) 国庫支出金 地方債 } 86億4千5百万円 県費その他 } (地方債残高 10億3千6百万円)	
	過去の改修費 3億8千4百万円	3億8千4百万円	
今後の整備	大規模改修計画(予定) 平成27~31年度 8千6百万円	8千6百万円	管理費累計額④ ・これまで 42億1千9百万円 ・今後 25億8千5百万円 計 68億4百万円 利子累計額⑤ ・これまで 7億6百万円 ・今後 1千7百万円 計 7億2千3百万円

今後の修繕	修繕計画(予定)	7億6千6百万円
	施設設備(H25~26) 5千2百万円	
	施設設備(H27~31) 3億6千6百万円	
	施設設備(H32~43) 3億4千8百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H24	H23		H24	H23	
人件費	106,818	117,771	千円	料金収入	34,114	20,377 千円
管理費	137,909	151,226	千円A1		
修繕費	4,217	7,783	千円	事業収入等	0	0 千円
事業費	98,775	94,237	千円	県費負担額	323,523	354,581 千円
元利償還金	16,576	16,576	千円A2		
計	364,295	387,593	千円	雑収入	6,658	12,635 千円
		A	国庫支出金	0	0 千円
				計	364,295	387,593 千円

ライフサイクルコスト計
①~⑤ 計
195億8千4百万円

成果指標(実績は24年度)	
目標値①	入館者数 10万人
実績	174,994人
目標値②	講演会・ギャラリートークの開催 7回
実績	12回

利用者数	
・当初予定入館者数	10万人
・実績(平成24年度)	174,994人
計	174,994人 B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H24)	A1÷B H24 195円
	(H23 163円)

県民1人当たり運営費負担額(H24)			
A2÷C H24	176	円	C··(H24推計人口) 1,838,611 人(H24.10.1)
[A2÷D H23	192	円	D··(H23推計人口) 1,848,107 人(H23.10.1)

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・明治期以降の日本近代洋画を中心に、現代の生きた動きを物語る作品、日本の作家たちに影響を与えた海外の作品、近世以後の三重県にゆかりの深い美術家の作品などを収集する。
- ・資料収集、調査研究、展示、教育普及など美術館の基本的な機能を重視し、独自の企画展のほか、多彩な展覧会を開催する。
- ・生涯学習活動として、移動美術館、美術セミナー及び各種講座、子どもの体験型ワークショップの実施など地域社会へサービスの充実を図る。
- ・美術館活動の活性化と支援のため、美術館ボランティア「樺の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団との協力体制を整備し、それぞれ美術館と連携しながら積極的な活動を展開する。

料金体系

県立美術館

常設展 一般 300円
 高校生・大学生 200円
 企画展は、その都度設定

施設の耐震化状況

平成20年度につり天井改修済み
 柳原義達記念館の彫刻作品の免震装置は、設置済み
 その他の彫刻作品、工芸作品の免震装置は、なし

施設のバリアフリー化状況

展示スペースのバリアフリー化は、ほぼ終了している。

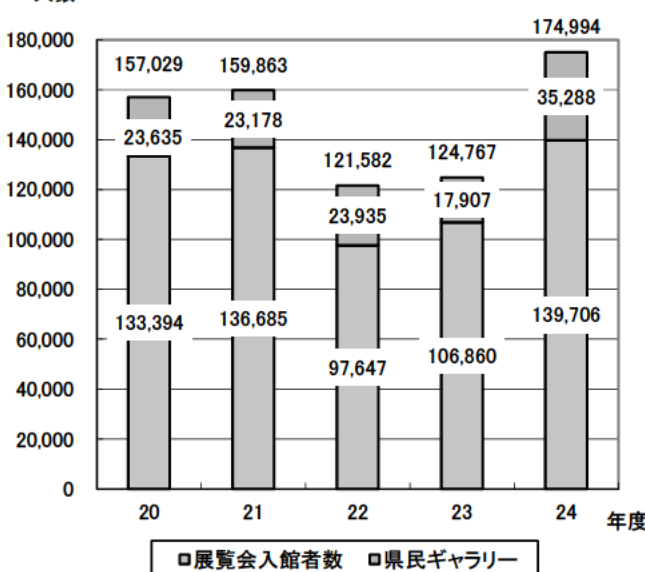
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

限られた経営資源で質の高い企画展を維持しながら、よりきめの細かいサービスを提供していく必要がある。
 また、美術館活動の支援団体である美術館ボランティア「樺の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団等と連携しながら積極的な活動を展開する。

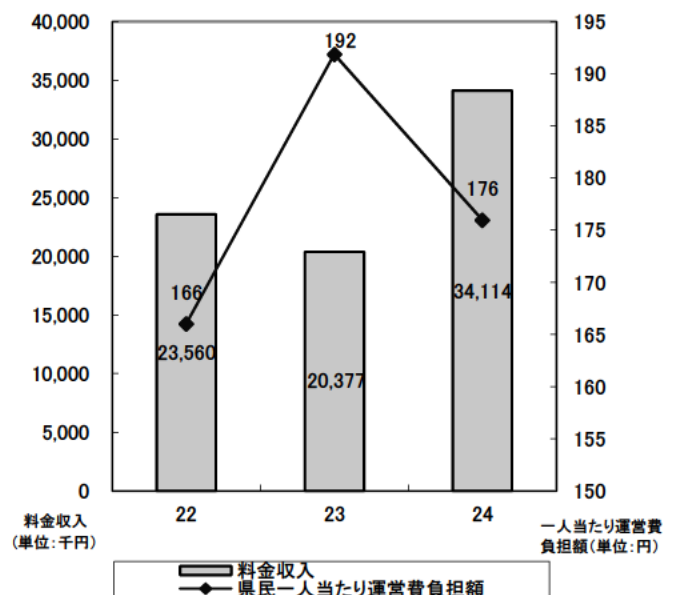
成果指標の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
展覧会入館者数	133,394	136,685	97,647	106,860	139,706
県民ギャラリー	23,635	23,178	23,935	17,907	35,288

人数 来館者数の推移



料金収入及び県民一人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【平成24年度決算】

施設名

三重県営サンアリーナ

建築年月日	平成6年5月竣工	供用開始日	平成7年1月4日	延床面積	24,312㎡	敷地面積	28,645㎡
建物構造・構成	鉄筋コンクリート造及び鉄筋造3階建						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	株式会社 スコルチャ三重				

	資産	財源	ライフサイクルコスト																																																
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 180億4千万円	財源計 180億4千万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 160億1千4百万円 ・今後 計 160億1千4百万円 修繕費累計額② ・これまで 9億9千5百万円 ・今後 32億2千6百万円 計 42億2千1百万円 人件費累計額③ ・これまで 18億4千9百万円 ・今後 26億1千6百万円 計 44億6千5百万円 管理費累計額④ ・これまで 39億9千9百万円 ・今後 58億9千万円 計 98億8千9百万円 利子累計額⑤ ・これまで 46億3千2百万円 ・今後 1億2千3百万円 計 47億5千5百万円																																																
	建物建設費(A) 1期(当初) 160億1千4百万円 2期 用地費(B) 6億1千6百万円 備品・その他(C) 14億1千万円 ----- 過去の改修費	(内訳) 国庫支出金 地方債 140億2千万円 県費その他 40億2千万円 (地方債残高 25億9千2百万円) ※借換債を含む																																																	
今後の整備	大規模改修計画(予定)																																																		
今後の修繕	修繕計画(予定) ・平成25年度 4千9百万円 ・平成26年度 9千4百万円 ・平成27年度 1億8千3百万円 ・平成28年度(～H56) 29億円	32億2千6百万円																																																	
運営費(単年度)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支出額(決算額)</th> <th>H24</th> <th>H23</th> <th>収入額(決算額)</th> <th>H24</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>79,293</td> <td>77,040千円</td> <td>料金収入</td> <td>100,935</td> <td>98,926千円</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>187,770</td> <td>187,098千円</td> <td>……A1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>24,948</td> <td>180,805千円</td> <td>事業収入等</td> <td>33,731</td> <td>29,544千円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>42,747</td> <td>43,877千円</td> <td>国庫負担額</td> <td>0</td> <td>43,280千円</td> </tr> <tr> <td>元利償還金</td> <td>428,589</td> <td>434,032千円</td> <td>県費負担額</td> <td>628,681</td> <td>751,102千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>763,347</td> <td>922,852千円</td> <td>……A2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>763,347</td> <td>922,852千円</td> </tr> </tbody> </table>	支出額(決算額)	H24	H23	収入額(決算額)	H24	H23	人件費	79,293	77,040千円	料金収入	100,935	98,926千円	管理費	187,770	187,098千円	……A1			修繕費	24,948	180,805千円	事業収入等	33,731	29,544千円	事業費	42,747	43,877千円	国庫負担額	0	43,280千円	元利償還金	428,589	434,032千円	県費負担額	628,681	751,102千円	計	763,347	922,852千円	……A2						計	763,347	922,852千円		
	支出額(決算額)	H24	H23	収入額(決算額)	H24	H23																																													
人件費	79,293	77,040千円	料金収入	100,935	98,926千円																																														
管理費	187,770	187,098千円	……A1																																																
修繕費	24,948	180,805千円	事業収入等	33,731	29,544千円																																														
事業費	42,747	43,877千円	国庫負担額	0	43,280千円																																														
元利償還金	428,589	434,032千円	県費負担額	628,681	751,102千円																																														
計	763,347	922,852千円	……A2																																																
			計	763,347	922,852千円																																														
			ライフサイクルコスト計 ①～⑤ 計 393億4千4百万円																																																

成果指標(実績は24年度)		
目標値①	メインアリーナ平均稼働率	57.0 %
実績		53.8 %
目標値②	サブアリーナ平均稼働率	67.0 %
実績		64.5 %
目標値③	会議室等平均稼働率	20.0 %
実績		19.1 %
目標値④	サンアリーナ利用人数合計	320,000 人
実績		277,077 人

利用者数	
・当初予定利用者数	年間 32.0 万人
・実績(平成24年度)	277,077 人
計	277,077 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H24)	
A1÷B H24	364 円
【 H23	332 円 】

県民1人当たり運営費負担額(H24)	
A2÷C H24	342 円
C… (H24推計人口)	1,838,611 人(H24.10.1)

【 A2÷D H23 406 円 D… (H23推計人口) 1,848,107 人(H23.10.1)】

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・“であいと交流”のステージを提供します。
- ・新たな“であい”によって文化を育み、“交流”を通じて人々に活力を与えます。
- ・多目的機能を備えた大規模複合施設である特性を活かし、様々な催しを実施し、地域との豊かなコミュニケーションに寄与します。
- ・特色のある文化活動や国際交流、スポーツの普及振興に取り組み、魅力ある三重県に貢献します。
- ・様々な活動を通じて、経済を活性化し、地域振興に寄与します。

料金体系

メインアリーナ【全部利用】	サブアリーナ【全部利用】
アマチュアスポーツ等 平日 8,200～126,000 円/1H 土・日・祝 9,800～150,000 円/1H	アマチュアスポーツ等 平日 1,600～30,000 円/1H 土・日・祝 2,000～36,000 円/1H
音楽・プロスポーツ興行 平日 84,000～126,000 円/1H 土・日・祝 100,000～150,000 円/1H	音楽・プロスポーツ興行 平日 20,000～30,000 円/1H 土・日・祝 25,000～36,000 円/1H

施設の耐震化状況

H18～19 天井耐震改修工事実施

施設のバリアフリー化状況

H13 身障者用駐車場及び屋外通路設置工事
H24 トレーニング室前身障者トイレ改修工事

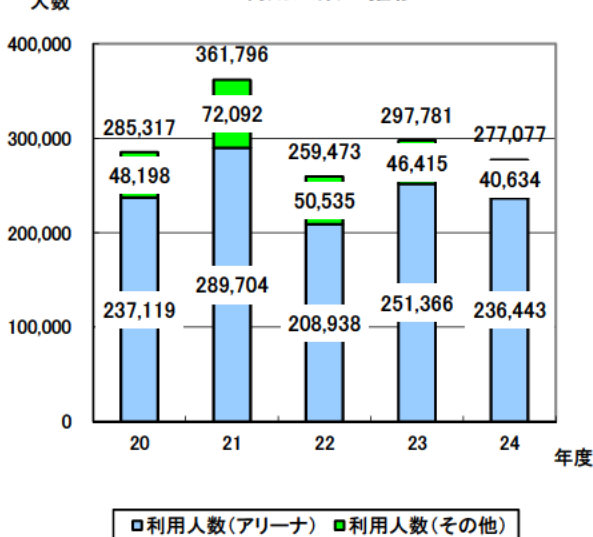
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

地域団体とのコラボレーションに努め、地域と連携した多彩なイベント等を実現し、新たな分野での利用拡大につなげている。また、地域や企業を対象とした体力・健康づくりやコミュニティの活性化に向けた自主事業の取組により、地域の文化・健康づくりや地域経済に貢献している。運営コスト面では、受電先を特定規模電気事業者へ切り替え、電力料金の節減効果を実現するなど、経費節減に努めている。今後は、老朽化が進む施設・設備について、修繕工事により利用促進等への支障をきたすことのないよう運営面での配慮を要する。

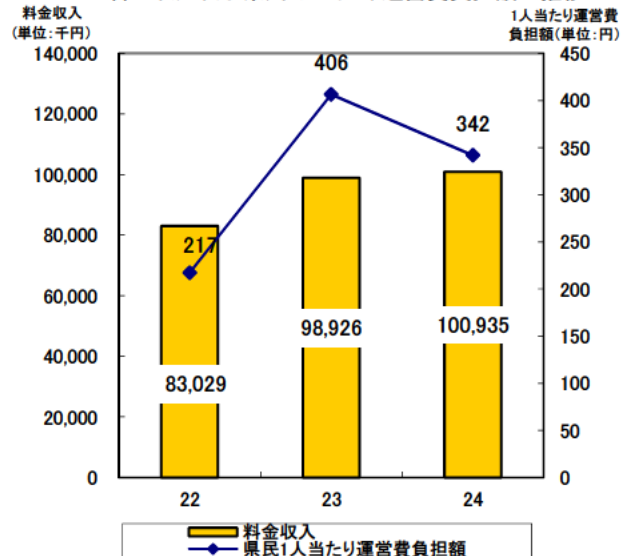
成果指標の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用人数	285,317	361,796	259,473	297,781	277,077
平均稼働率(メインアリーナ)	56.6%	61.4%	60.5%	48.9%	53.8%

人数 利用人数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【平成24年度決算】

施設名

三重県営鈴鹿スポーツガーデン

建築年月日	平成4年8月	供用開始日	平成4年10月	延床面積	34,269.76㎡	敷地面積	391,000㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産		財源		ライフサイクルコスト			
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	188億6千9百万円	財源計	188億6千9百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上			
	建物建設費(A)	121億4千4百万円	(内訳)		建物建設費・改修費累計額①			
	1期	14億6百万円	国庫支出金		・これまで	128億6千3百万円		
	2期	92億5千4百万円	地方債	130億5千万円	・今後	25億円		
	3期	14億8千4百万円	県費その他	58億1千9百万円	計	153億6千3百万円		
	用地費(B)	21億5千2百万円	(地方債残高	10億2千8百万円)				
	備品・その他(C)	45億7千3百万円	※借換債を含む					
過去の改修費	7億1千9百万円				修繕費累計額②			
今後の整備	大規模改修計画(～H54予定)		} 25億円		・これまで	1千6百万円		
	・サッカーラグビー場(芝改修)	6億円			・今後	86億円		
	・水泳場(外壁等)	10億円			計	86億1千6百万円		
	・体育館庭球場(人工芝等更新)	9億円			管理費累計額③※			
今後の修繕	修繕計画(～H54予定)		} 86億円		・これまで	64億2千万円		
	・サッカーラグビー場機器	5億円			・今後	98億6千万円		
	・水泳場機器	60億円			計	162億8千万円		
	・体育館庭球場機器	21億円		利子累計額④				
運営費(単年度)	支出額(決算額)	H24	H23		収入額(決算額)	H24	H23	
	人件費	61,260	66,222	千円	料金収入	105,031	101,164	千円
	管理費	371,152	383,130	千円	……A1			
	修繕費等	0	0	千円	事業収入等	36,043	44,360	千円
	事業費	36,830	36,972	千円	県費負担額	473,465	486,088	千円
	元利償還金	145,297	145,288	千円	……A2			
	計	614,539	631,612	千円	計	614,539	631,612	千円
					ライフサイクルコスト計			
					①～④ 計			
					432億9千2百万円			

成果指標(実績は24年度)			
目標値①	利用者数(合計)	目標値	366,000人
実績		実績	464,824人
目標値②	大会数	目標値	300回
実績		実績	396回

県民1人当たり運営費負担額(H24)			
A2÷CH24	258 円	C… (H24推計人口)	1,838,611 人(H24.10.1)
【 A2÷DH23	263 円	D… (H23推計人口)	1,848,107 人(H23.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間36.6万人
・実績(平成24年度)	464,824 人
計	464,824 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H24)	
A1÷B H24	226 円
【 H23	221 円】

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

水泳場 メインプール・サブプール・トレーニングルーム 一般 450円/回 庭球場 屋外コート 一般 600円/面・時間 シェルターコート 一般 800円/面・時間 センターコート 一般 1,200円/面・時間	サッカーラグビー場 メイングラウンド 一般 3,500円/時間 第1,2,4グラウンド 一般 1,800円/時間 第3グラウンド 一般 1,500円/時間 体育館(全部使用) 平日料金 2,300円/時間 日・祝日料金 2,900円/時間 トレーニングルーム 一般 140円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合
--	---

施設の耐震化状況

建物構造物は、すべてS56. 6. 1建築基準法改正法施行後建築のため、耐震対策済。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレ、身障者(車いす)用観覧席、エレベーターの設置済み

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

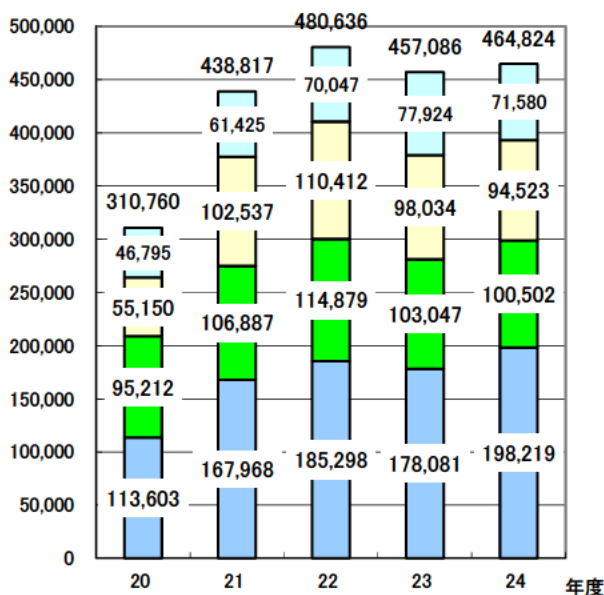
- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。また、利用規定について、利用者の要望に対応できるようにできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

成果指標の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数(合計)	310,760	438,817	480,636	457,086	464,824
大会数	352	376	400	394	396

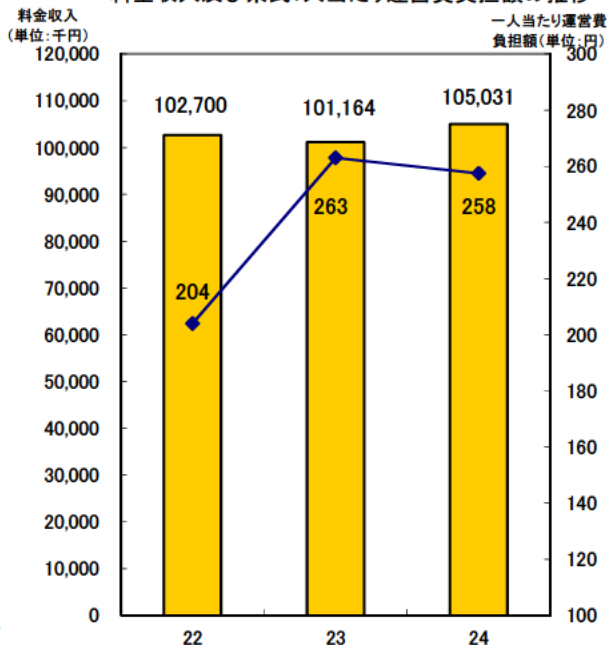
人数

利用者数の推移



□水泳場 □庭球場 □サッカー・ラグビー場 □体育館等

料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



■料金収入 ◆県民1人当たり運営費負担額

資産カルテ【平成24年度決算】

施設名

三重県営総合競技場

建築年月日	昭和39年3月	供用開始日	昭和39年4月	延床面積	10,530㎡	用地面積	85,628㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	15億6千万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 38億8千1百万円 ・今後 13億1千7百万円 計 51億9千8百万円 修繕費累計額② ・これまで ・今後 9千7百万円 計 9千7百万円 人件費累計額③ ・これまで 8億2千6百万円 ・今後 1億2千万円 計 9億4千6百万円 管理費累計額④ ・これまで 15億1千9百万円 ・今後 1億9千2百万円 計 17億1千1百万円 利子累計額⑤ ・これまで 2億9千1百万円 ・今後 6百万円 計 2億9千7百万円
	建物建設費(A)	12億7千7百万円	
	1期	2億1千万円	
	2期	2億8千万円	
過去の改修費	3期	2億6千2百万円	
	4期	5億2千5百万円	
	用地費(B)		
	備品・その他(C)	2億8千3百万円	
過去の改修費	26億4百万円	財源計 15億6千万円 (内訳) 15億6千万円 国庫支出金 地方債 } 県費その他 } 15億6千万円 (地方債残高 1億3千3百万円)	
今後の整備	大規模改修計画(～H27予定) ・陸上競技場 9億1千3百万円 ・体育館本館・別館 3億2千4百万円 ・トレーニングセンター 8千万円	13億1千7百万円	

今後の修繕	修繕計画(～H27予定) ・陸上競技場 ・体育館本館・別館 9千7百万円 ・トレーニングセンター	9千7百万円
-------	---	--------

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H24	H23	千円	H24	H23	千円
人件費	39,419	40,294	千円	料金収入	29,213	27,919 千円
管理費	48,666	50,145	千円	……A1		
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	8,414	11,018 千円
事業費	8,045	7,369	千円	県費負担額	107,519	131,349 千円
元利償還金	49,016	72,478	千円	……A2		
計	145,146	170,286	千円	計	145,146	170,286 千円

※修繕は、改修にあわせて実施。

ライフサイクルコスト計	①～⑤ 計	82億4千9百万円
-------------	-------	-----------

成果指標(実績は24年度)			
目標値①	利用者数	目標値	222,500人
実績		実績	356,776人
目標値②	大会数	目標値	200回
実績		実績	306回
県民1人当たり運営費負担額(H24)			
A2÷CH24	58 円	C… (H24推計人口)	1,838,611 人(H24.10.1)
[A2÷DH23	71 円	D… (H23推計人口)	1,848,107 人(H23.10.1)]

利用者数	
・当初予定利用者数	年間22.25万人
・実績(平成24年度)	356,776 人
計	356,776 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H24)	A1÷B H24 82 円 (H23 87 円)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

・陸上競技場 全部使用の場合（平日）2,000円/時間（日曜、祝日）2,500円/時間 ・補助競技場 全部使用の場合（平日）800円/時間（日曜、祝日）1,000円/時間 ・体育館本館 全部使用の場合（平日）2,100円/時間（日曜、祝日）2,700円/時間 ・体育館別館 全部使用の場合（平日）1,000円/時間（日曜、祝日）1,400円/時間	・トレーニングセンター 高校生以下 60円/時間 その他の者 120円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合
--	---

施設の耐震化状況

H9.31に実施した耐震診断の結果、全施設耐震性能があると判定された。体育館本館の吊天井は、H21.7に耐震改修を完了した。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレの設置済み

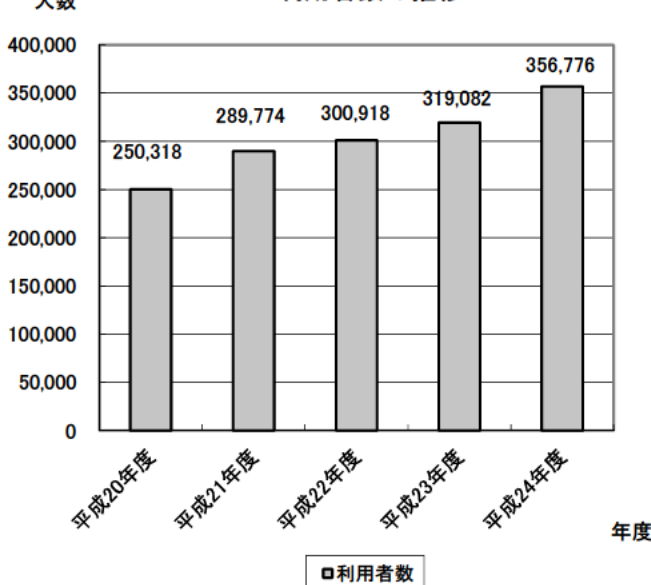
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。また、利用規定について、利用者の要望に対応できるようにできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

成果指標の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	250,318	289,774	300,918	319,082	356,776
大会数		242	264	318	306

利用者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移

